

# 日本防災士会埼玉県支部ニュースレター：第3号

平成21年春号

日本防災士会埼玉県支部：平成21年4月発行

平成21年春号においては、埼玉支部会員による特別投稿並びに平成20年9月25日～平成21年3月8日まで開催された埼玉県支部行事に関する講師及び行事参加者による報告記事を掲載しました。

## 目次

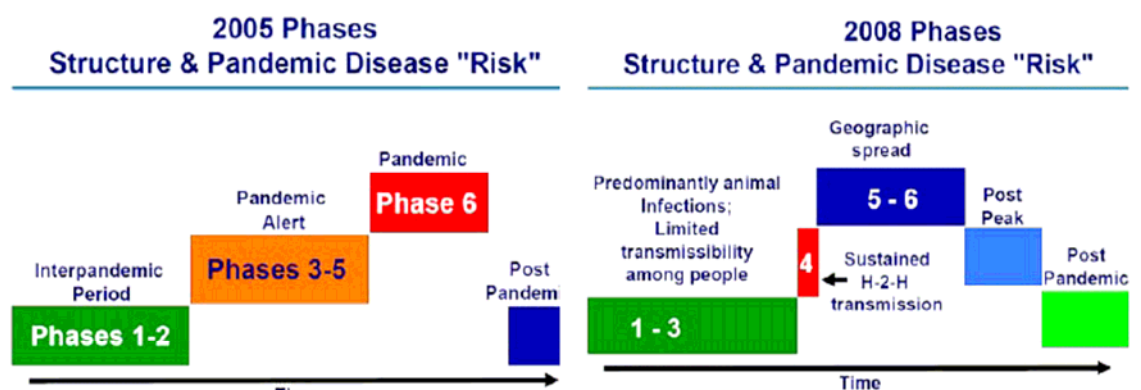
- 1 新型インフルエンザパンデミックの基準となるガイドラインの変化  
埼玉県支部顧問 木船 賢治
- 2 災害救援チームについて  
日本防災士会幹事 武田 勉
- 3 埼玉 RB10 周年記念祝賀会に出席して  
埼玉県支部長 中沢 陸彌
- 4 埼玉県支部行事の報告

	行事内容	講師等	ニュースレター 執筆者
平成20年 9月27日(土)	防災士に求められる知と技 ～震災時現場を想定して～	木船賢治氏	木船賢治
11月29日(土)	応急手当と応用訓練	小野寺正勝氏	小野寺正勝
平成21年 1月24日(土)	自助と共助の再確認	守屋正美氏	守屋正美
2月15日(日)	埼玉県防災学習センター「ロープワーク 教室」に参加して	小野寺正勝氏 鈴木勇氏	六十里繁
3月8日(日)	地震に備える ～緊急地震速報で人的被害の軽減～	神林幸夫氏	神林幸夫

## 新型インフルエンザパンデミックの基準となるガイドラインの変化

埼玉県支部顧問 木船賢治

昨年末から今年の初めにかけてインフルエンザパンデミックの基準になるガイドラインが変わってきました。WHOの現在のガイドラインはフェーズ1~6まで。これは2006年に現在の形になったわけですが、現在の人類はフェーズ3の状況にあります。2月16日までは国は例えばフェーズ3Aを国外発生、フェーズ3Bを国内発生という言い方をしておりましたが、2月17日新しいガイドラインが出まして、国の言い方が変わってきました。



### WHOパンデミックフェーズ定義改定草案

WHOのガイドラインそのものも、今、変わろうとしています。今まではフェーズ3~5までをパンデミック警戒期というふうになっておりましたが、今度はフェーズ1~3までと、フェーズ4、4は[人 人感染]が始まったわけですが、非常に時間的には短い。そしてあっという間に地理的な広がりを持つ。フェーズ5・6は似たようなものだということになりまして、新しい概念として Post Peak という概念が入りました。数字は入っておりませんが、流行の波の右肩が下がっているほうです。新しいフェーズ4ではコミュニティレベルでの[人 人感染]が発生している。日本でいいますと県単位でしょうか。それからフェーズ5になりますと隣接しない2ヶ国またはそれ以上で発生している状況。フェーズ6は少なくともアジアとアフリカ、アジアとアメリカというような地理的に大きく飛んだところでの発生をフェーズ6ということになるそうです。

### 日本のガイドラインも変わる

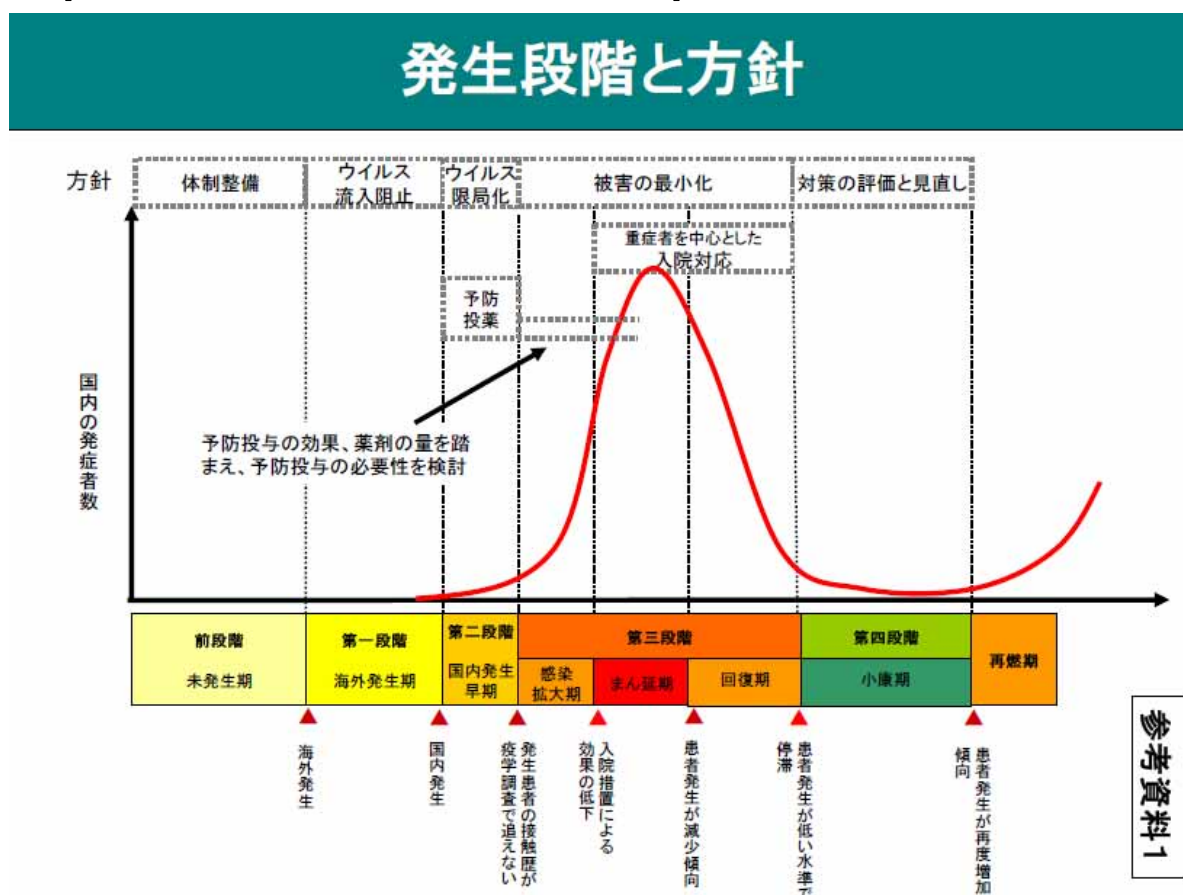
2月17日に変わりました新型インフルエンザ対策行動計画では、フェーズの概念ではなく、第一段階~第四段階というふうになりました。海外発生の状況を第一段階海外発生期といいまして、従来でいいますと4A・5A・6Aの状況です。そして第二段階国内発生早期ということで、今まででいうと4Bの状況です。そして第三段階は感染拡大期、蔓延期、回復期というふうになります。ただし国では第三段階というところまでしか言いません。そ

これから、感染拡大期、蔓延期というところは各県単位、地方行政単位です。たとえば開空から入ってきて、大阪は感染拡大期を乗り越えて第三段階感染蔓延期です。一方、東京都は第三段階感染拡大期ということになりますので、地方の行政はきちんとサーベランスをしないといけないということになります。第四段階が小康期です。日本国内においてはこちらを使わなくてはいけない。海外駐在の方々にはWHOのフェーズ1~6まで、こちらを使わなくてはいけない。顔を向ける方向によっては言い方を変えなくてはいけないということになりました。

## 他人にうつす期間

それから第10回新型コロナウイルス専門家会議の資料には、人にうつす期間をはっきりと明記してくれました。発症した日の1日前、24時間前、これは通常のインフルエンザもそうですが、熱が出てインフルエンザに罹ったといった時には、その前日の症状のない時から人にうつしている。したがってこれがSARSと非常に違うところで、封じ込めが困難なわけです。そして解熱した日を0日として解熱後7日目まで、これも撒き散らしている。したがってタミフルをもらって48時間で熱が下がって元気になったから会社に行こうというのはやめて下さい。また発症者が12歳以下の場合は発症した日を0日として、なんと発症後21日目まで撒き散らしているということですので、お子様が罹ってしまったらお父さん、お母さんは約1ヶ月間会社に出てこれないということになります。

[新型コロナウイルスパンデミック行動計画より]



# 災害救援チームについて

日本防災士会幹事 武田 勉

## 1. 救援チームの発足経過

- (1)平成 16 年に当会が設立されて以来、全国各地の会員から、「地域の防災活動のために何が出来るか」という意見が多く出された。
- (2)当会として、平成 17 年 9 月の幹事会の議決を経て「地震による被災地に出動し、災害救援を行なうにあたり、いかなる方策が考えられるか」という課題として、「災害救援検討専門部会」を設置し、この検討を諮問した。
- (3)部会は、有我部会長以下 12 名の委員・7 名の「作業グループ」を立ち上げ、5 回にわたり、行動理念等の具体的な内容について慎重に審議された。
- (4)平成 17 年 12 月「地震被災地及びその周辺地において、地域の安全・安心に係る行政機関等の業務に関連した情報の収集や、災害活動について支援あるいは補完・協力する」という目的を基調として「災害救援チーム」を創設するという「災害救援についての基本構想」として、答申された。
- (5)「答申」を受け、平成 18 年 1 月から、救援担当を指定し、その実現を図ることとし、具現化スケジュールに基づき、第 1 ステップとして、登録者を募り、本部直轄チーム 3 チームを編成・装備も段階的に整備を図ることとした。
- (6)平成 18 年 6 月 24 日(土)当会の総会を前に、「災害救援チーム」3 チームの発足式を行い、スタートしたものである。

## 2. 救援活動の具体的内容（「災害救援に関する細則」に規定しているもの）

- (1)救出・救助活動の支援・補完・協力活動
- (2)救護・救急活動の支援・補完・協力活動
- (3)消火活動の支援・補完・協力活動
- (4)消防本部運営の支援・補完・協力活動
- (5)災害対策本部長の要請による活動支援（情報収集・記録・ボランティア等の調整など）
- (6)その他消防長の要請による支援活動

## 3. 救援チーム員の構成

現在は、4 チーム(48 名)に増強しております。なお、基本的な考え方は、次のとおりです。

- (1)本部に、災害救援本部長・副本部長・救援担当・本部員をおく。
- (2)各チームに、消防署長経験者をリーダーとサブリーダー候補にあてる。
- (3)各チームに、現役の郵便局長を複数配置する。
- (4)各チームに、一般の会員チーム員を複数配置する。
- (5)消防職員経験者は、適宜各チームに配置する。

- (6) 実災害派遣時には、原則として、経験・能力・資格等を考慮し、本人の意思を尊重して、「派遣チーム」を編成する。

#### 4. 救援チームの装備

- (1) 「整備構想」では、「個人装備」と「チーム装備」に区分し、整備すべき装備の答申があったが、財政の状況、保管場所、必要性等を考慮し、計画的・段階的に整備している。
- (2) 当面、「緊急性の高い個人装備」に重点を置き整備している。
- (3) 具体的には、シンボル旗・作業服(上下)・帽子・ヘルメット・ベルト・安全靴・防塵用ゴーグル・皮手袋・懐中電灯・リュックサック・シュラフ・警笛・防寒衣・夏服(半袖Tシャツ)・登録証を貸与・支給している。
- (4) 今後整備予定として考えているのは、「雨衣」・「ヘッドライト」・「活動記録手帳」である。
- (5) 将来は、チーム用の「初期救助用の資器材などの装備」を順次整備すべきと思われる。また、緊急通信用の借用契約も必要である。

#### 5. 主な事業・活動内容

年間を通して、震度6強の地震災害が発生した場合は、原則として、「災害救援本部を設置」とともに「救援チーム員等」を被災地に派遣する。

- (1) 「消防出初式」への参加(分列行進・消防演技 救出・救助・救急・消火)
- (2) 「防災ボランティア週間」における「減災」・「防災」訓練への参加
- (3) 災害救援訓練の実施(東京消防庁ハイパーレスキューの指導により実施)
- (4) 「減災」・「防災」・「指導技術」の向上を図るため、「防災研究会」を開催
- (5) 「防災週間」における、自治体主催の「総合防災訓練」への積極的参加  
(各支部との連携・地元消防本部との連携が重要である)
- (6) 各支部の要請に基づく、「防災活動」の積極的支援
- (7) その他災害救援本部長が必要と認めた事項

**平成 19 年 7 月 18 日：新潟県中越沖地震出発式**



**平成 20 年 8 月 30 日：千葉県訓練**



平成 20 年 8 月 31 日：東京都訓練



平成 21 年 1 月 6 日：東京消防出初式



## 6. 今後の救援チームの活動のあり方 一提案

- (1) 自治体（都道府県・区市町村）主催の防災訓練への積極的参加・派遣
  - ア 地元支部からの早期情報に基づき対応する。
  - イ 支部長会議での検討・協議が必要である。
  - ウ 各支部の地元行政機関（自治体）との連携が緊密に行なわれていることが重要である。
- (2) 自主防災組織等の「減災訓練」・「防災活動」への積極的指導者の派遣
  - ア 前（1）同様の対応が必要である。
  - イ 地元支部と自治体との「防災に関する応援協定」（仮称）等が、締結されておれば円滑な対応が可能である。
  - ウ 当会の専門員制度との整合性を図る必要がある。
- (3) 各支部からの要請に基づく、「減災活動」・「防災活動」への積極的指導者の派遣
  - ア 一般会員が、「防災士」としての防災活動ができるよう、常に、「防災知識・技術・行動力」のレベルアップを図る。
  - イ 支部長会議での検討・協議が必要である。
- (4) 当会と東京都との「大規模震災時における防災活動等に関する協定」（仮称）締結の検討
  - ア 当会が法人化された後に、具体的検討を行なう。
- (5) その他災害救援本部長が緊急に必要と認めた事項

## 埼玉RB10周年記念祝賀会に出席して

埼玉県支部長 中沢陸彌

当埼玉県支部の役員（会計）大澤さんが副会長を務める「埼玉RB」の10周年記念式典に、日本防災士会・埼玉県支部を代表して、木船氏と出席してきました。

Rは、レスキューの「R」、「B」はバイクのBです。いざ、災害現場に行くとき、バイクは小回りがきくので、いち早く災害現場へ行きつく事が出来ます。もちろん、皆さん、手弁当で駆けつけています。

RBの組織は、「阪神淡路大震災」を機に浜松市で誕生したそうです。数ヶ月遅れて全国各地で生まれ、当会は12番目の誕生です。「バイクが好きな人」「好きなバイクでボランティアをしよう」のかけ声で有志が集まりました。

今回の記念行事は、浦和の「レンタルスペースホーリィ」で行われました。会長は、大内重則さん。いろいろな分野で活躍されています。ちなみに、日本オリンピック委員会の専任コーチングディレクター（近代5種）です。

さて、当日の式典は代表の挨拶から始まって「RB・10年の歩み」と言う、映像をつかった当会の紹介がありました。小生も「お祝いの言葉」を述べさせていただきました。

とにかく10年と言う、長い・重いボランティアは並大抵ではありません。よくここまで活動を続けてきたと思います。それも中途半端なものではなく、中身の濃い充実した活動です。小生は、すっかり「RB」ファンになってしまいました。さすが、防災士・大澤さんが副会長を務める組織と思いました。

式典の案内パンフに「バイクが大好き。僕らは集まった。年齢も職業も。人数がそろえば何かが出来ると。災害ボランティアはどう。地元の活動は。新しい風を一緒につかもう。WE ARE 埼玉RB」とあります。彼らは、まさしく「ボランティアの鑑」と言えましょう。

これからも、いっそうの活動を続けてほしいと念じます。「埼玉RBに栄光あれ」と、エールをおくります。



## 4 埼玉県支部行事の報告

### 防災士に求められる知と技

～震災時現場対応を想定して～

木船 賢治

#### 災いを防ぐサムライ

災害には地震や風水害などの天災（自然災害）と事故やテロなどの人災がありますが、防災士を字面のまま解釈するとこれらの災害を防ぐ人ということになります。日本防災士会のホームページには以下のとおり説明されています。

「自助」「互助」「協働」を原則として、社会の様々な場で、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有する者として、日本防災士機構で認められた人のことを「防災士」と言います。（下線筆者）

防災士には「十分な」という修飾語がついたがモノ求められるわけで、一般の方々を啓発・指導出来るレベルの意識・知識・技能であると筆者は解釈しています。そのレベルを獲得し維持するためにはたゆまぬ学習と訓練が必要であり、それらに裏打ちされて十分な意識が保たれると考えます。また、防災士の仲間を見ているとさらに以下のような人物像が浮かびます。おのれが生き延び家族や仲間を守ろうとする意志、他者を気づかう心、そして「志のある者たちの集まり」が好きであるという資質を持った基本的には善人像です。

#### なぜ地震対策かの説明要領

地震そのものの知識はプロフェッショナルの神林防災士にお願いするとして、我々が地域の人たちへ地震に関する知識を説明する際にわかり易く話す要領について述べます。

素人に説明する際に役に立つのは「たとえ」や「比較」です。以下は30年発生確率を理解していただき地震はいつ起きてもおかしくない、意外と切迫していることの説明です。



1995年1月17日の阪神淡路大震災以来、西日本は地震の活動期に入ったといわれていますし、関東地方も次の関東大震災が来るであろう100年前頃にさしかかって足元直下での中規模地震が頻発する時期になりました。首都直下地震の30年発生確率は2008年1月1日を起点として70%、宮城県沖地震は実に99%です。他の災害・事故の発生確率と比較してみましょう。我々が30年以内に交通事故で命を落とす確率が0.2%、交通事故で怪我をする確率が24%です。交通事故は自分が気をつければ発生確率を極めてゼロに近づけることが出来る、つまり、避けることが出来る災害です。しかし、地震のリスクだけは日本にいる限り避けて通ることは出来ない、必ず来る「必然で不可避」なリスクです。交通事故などを例にとっても皆さんは自分自身のことですから生命保険や交通傷害保険に入ったり、車を運転するときには気をつけて運転します。ところが、70%や99%の発生確率といわれながら意外に地震対策は進めていませんね。というように身近に起きる他の災害・事故との比較をすると解かりやすいものになります。そして、それに続けて「避

けられないのだから覚悟を決めて準備しましょう。それが減災ですよ。」と耐震補強や転倒防止、備蓄の話に展開していけば「そうだ、地震は来るんだ。活動期に生まれてしまったのが運のつきだから覚悟を決めて対策をしよう。」ということになります。

### CERT訓練<サートと読みます>

阪神淡路大震災の時、瓦礫に埋まった人たちの70～75%はご近所の仲間が助け出したといわれています。広域な大規模災害の発生初期においては消防・警察・自衛隊等の「公助」の到着までには時間的・人数的に限界があることは自明です。従って「自助」「互助」「協働」が必要になります。

被災者の数が2桁・3桁になる修羅場では被害者が一人の事故の場合と異なり、選別して助かる確率の高い者から助ける等のトリアージの知識と一定の救助技術が必要になります。米国では国家安全保障省(DHS)の連邦危機管理庁(FEMA)が中心となり、地域や企業を対象にCERTといわれる救助訓練を実施しています。

CERTとは Community Emergency Response Team あるいは Company Emergency Response Team の略で、地域緊急対応チーム、企業緊急対応チームというところでしょうか。その技術は搜索・現場トリアージ(選別)・応急止血・救出・搬送で構成されており、訓練は受けているけれども基本的には素人のチームが、どこにでもあるパルや2×4(ツーバイフォー)の木材やブルーシート等を使い、救助チームの安全を第一として被害者を救出する一連の技(ワザ)で、目的は一人でも多くの命を救うことです。



救助チームの安全を第一とするのはミイラ取りがミイラになると、被災したそのチーム員を救助するために6～7人のチームを送りこむことになり貴重な救助人材のさらなる不足と本来救助すべき被災者の救助遅延(絶命)を招くことになるためです。

個人の装備はヘルメット、手袋、頑丈な靴(出来れば安全靴)、懐中電灯、清潔なタオル数本(または三角巾)、ガムテープ、マジック、筆記具(ボールペン)、メモです。



活動は班編成でのチームでの動きになります。全体のリーダー1名(全体状況の把握と指揮統制、救助の優先順位等を判断し

指示を出す) 記録・計画要員 1 名( 搜索要員からの報告を記録、次にやる事を考える、必要資材の調達計画等) 搜索班 2 名で 1 組( 必ず 2 名で行動するこれを Buddy<バディ>といいます。



被害者の搜索と現場でのトリアージ<選別>と応急止血を担当し、原則として救助は行わずより多くの被害者を発見し本部に報告する) 救助班(リーダー 1 名、安全管理 1 名、医療救護救出要員 1 名、テコ担当 1 名、角材補強要員 2 名~、優先順位をつけられた者から救助する) 搬送班(リーダー 1 名、搬送要員 6 名、本部(二次トリアージ)または医療班がいればその現場まで救出された被害者を搬送)が基本構成で、搜索班、救助班、搬送班は人数が集められる限り多く班を作ります。



文章で書くと複雑なようですが、やってみると意外に簡単です。一度経験してみると効果が身体でわかりますし、一度やってみると忘れません。素人がやることですから高度なことは出来ませんが多くの命を助ける効果は抜群だと思います。

今回は紙面の関係で個別班の技術には言及しませんが、埼玉県支部で訓練を積み、埼玉から全国に CERT 訓練を普及出来ればとの夢を持っています。毎年 1 月 17 日の千代田区帰宅困難者対応実働訓練では飯田橋地区で実際の CERT 訓練展示を木船がリーダーとなって実施しています。他にも機会があれば声をかけますから皆さんも参加してみてください。

#### 平成 18 年度千代田区での CERT 訓練



#### 平成 20 年度千代田区での CERT 訓練



## 応急手当と応用技術について

### 日本防災士会災害救援チーム員

#### 小野寺正勝

日本防災士会埼玉県支部事業の一つとして、平成 20 年 11 月 29 日 さいたま市立生涯学習総合センター 9 F で会員 12 名の方々と勉強会ができますことに感謝申し上げます。



防災士は、防災の常識人であり、日常的な役割は、周りの人々の防災知識、技術向上の手助けを行うと防災士教本の学習ポイントの一つにあげられております。今日参加の皆さんは、防災士として一通り応急手当の基礎を習得しておりますが、いざという時自信を持って活動できるでしょうか？  
**応急手当の目的** 傷病者の命を救うこと。

症状を現在以上に悪化させないこと。 苦痛の軽減を図ること。

**応急手当の必要性** 救急隊が到着するまでの間の時間が傷病者の生命を大きく左右することから、早期に応急手当を着手する必要がある。 震災時等には救急隊の到着が期待できないことから、自主救護のための応急手当が必要である。 応急手当は誰でもが実際にできるようにならなければならない。

**応急手当の共通事項** 医学的根拠のある正しいものであること。 正しい観察に基づいて行うこと。 直ちに行うこと。 確

実に行うこと。これ等が基本ですので理解してもらいたいとおもいます。

それでは本題に入りたいと思います。

### 止血の基本的な方法

止血法は、簡単な方法で、確実にしかも効果的に止血でき副作用を伴わない方法でなければならない。 一般的には、直接きず口の上に少し厚めの清潔なガーゼ、ハンカチ等をあてて、手で強く押さえ圧迫すると止血できる。 手や足などの出血では、その部位を心臓より高い位置にすることにより止血効果を高める。これを確かめたいと思います。参加者全員に、片手を高く上に約 15 秒～20 秒ほど上げてもらい、素早く降ろさせ左右の手を比べて、上に上げた手が白っぽくなっていて止血効果の現れていることを納得してもらえた。

### 三角巾の使い方

市販品（展示）はこのように八つ折になっていない物があります。基底が 150 cm 辺が 105 cm×2 辺の三角巾です。この 2 辺の交わった点を頂点といいます。基底と辺の交わった点を端といいます。三角巾のたたみ方、三角巾をたたむときは手に持ったままの状態で行う、三角巾の汚染を防止するため地面(床面)や衣類に触れない。



全巾基底部中央を左手で持ち、右手で頂点を持つ。 半巾を作る。右手、左手ともに第 1 指を外にだして、他の 4 指三角巾の中に入れ、右手(頂点側)を手前(山折り)に折り、左手と右手が合わさるようにし、左手の第 1 指で頂点部をつまむ。 右手を手前 1

枚目と2枚目の間に入れ、折り目の頂点部をつまむ。 の頂点を手前に引くように開き、開いた側を外側に返して2つ折のたたみ三角巾を作る。 2つ折にした後、右、左手ともに第1指を外側に残し、他の4指を内側に入れる。 のくり返して八つ折りを作る。

### 三角巾使用時の留意事項

三角巾で滅菌処理されているもの以外は、三角巾そのものを直接きず口に当てないようにし必ず滅菌ガーゼ等を当ててからほしいをする。 たたみ三角巾は、きずの上に結び目がこないようにする。 全巾として使用する場合は、必ず基底部を3～5cm外側に折り返す。

### これから2人一組で実習します。

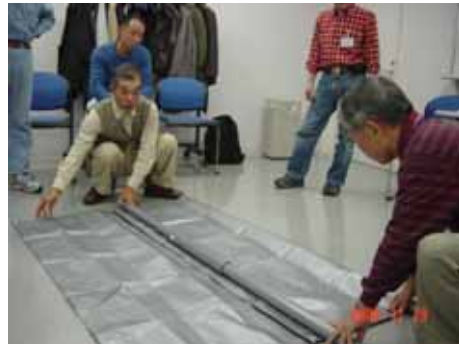
前額部 眉上に八つ折りのたたみ三角巾の基底部がかかるように当て、適度に圧迫しながら両端を後方に回し、外後頭隆起で交差させ、交差させた両端を更に前方に回してきず口を避けて結ぶ。 提肘固定三角巾 全巾の三角巾の一端を健側肩部にかけ、基底部が体側に平行になるようにし、全巾の頂点は患側肘部において、患側手掌は自然に胸に当てる。下肢側の端は、患側前腕部を包み折りあげ、患側腋窩を通して背部に回す。腋窩を通した端と健側肩部の端とを背部でむすぶ。肘部にある全巾の頂点は、とめ結びで結んで内側に入れる。



### 応急担架作成法

1) 応急担架は、180～200cmの竹・木・鉄パイプ等人間を乗せても大丈夫な棒2本と毛布・シート(毛布大)があれば作成できる。 毛布を広げて3分1のところ棒を置く。 その棒を包むように、毛布を折り

返す。 折り返された毛布の端にもう1本の棒を置き、其の棒を折り込むように残りの毛布を折り返す。



2) 衣服・棒利用の担架 上着の袖口のボタンと第1ボタンを外す。 両手で棒の先端を握り、腰を深く曲げる。 上着のすそを持ち、上着が裏返しになるようにして棒の方向に脱がせる。 1人が終わったならば次の者が、前者と同様にこの動作をくり返す。



### 椅子を利用した徒手搬送

椅子を利用して傷病者を階上{下}から階下{上}に搬送する方法である。 傷病者は、三角巾又は帯等により椅子に固定して行う。 以上



## 自助と共助の再認識

守屋 正美

平成 21 年 1 月の埼玉県支部の講習会を 1 月 24 日(土)大宮の生涯学習総合センターで行いました。講習名は「自助・共助の再確認」と題し 15 名の参加で午後 3 時から 5 時までの 2 時間の内容で行いました。防災士として履修はしてきたものの今回の目的は今大地震が起きた場合を想定し、埼玉県支部の防災士のスキルアップを図るために大地震時の際の備えとその時の行動を主にパワーポイントを交えて説明を行いました。



### 「自助」としての内容

自宅に用意しておく便利な備蓄品、緊急持ち出し袋、救助のために使用する最低量の機器の準備。

(狭い場所で有効度を増す為、片刃のこぎり、1m 以上のパールの準備; 30cm ぐらいのものは、テコとして不向き) 高層難民者で自活する場合の備蓄品、食糧、飲料水について。

(年配者の数回の階上への持込みは難を要す)

万一に備え自家用車内に最低限の備蓄品を用意しておく。

(飲料水や缶詰(定期的に交換))

市区町村別の火災感知器の設置条件(埼玉県のみの場合)。

理想的な消化器の種類と設置場所。

など  
(キッチンの入口、又は、入口に近い場所) 小



### 「共助」としての内容

「自助」の割合が多ければ多いほど「共助」に参加することができ、けが人等の救助や手当等の活動ができる。沈静化してからの帰宅、そして手ぶらでの帰宅は避ける。またその場(職場等)での滞留(滞在)の重要性について。

帰宅困難時の場合、個人で用意しておく物(勤務先)。

企業として帰宅困難者の支援内容について。

「自助」無くして「共助」無し。など



### 「その他」

応急手当、医療品が来るまでの間接止血法のポイントの説明。

東海・東南海・南海地震の推定被害状況（データより）の説明。  
大地震への関心度（データより）の説明。



ボランティア活動の関心度（データより）の説明。

50のアンケートの実施（災害に対しての自己啓発）。

内容は発災時の自宅での「自助」や備蓄品準備の内容、さらに被害を軽減する方法や飲食糧の備蓄状況、避難所での協調性など50種類の項目を自分（自宅）に当てはめ記入していただき、個人個人の考え方等、さらには家族構成や住居形体がちがうため、記入後に理想と思われる回答例の配布をいたしました。

「自助」は基本であっても発災時にはまずどのような行動をするべきか、またそのためにはどのような準備しておくのが最良か、平常時ではわかっているもののいざとなると思っていたような行動ができず被害を受けてしまう可能性が十分に考えられます。自分を含めた家族全員が「自助」の基に被害（けが等）に遭わないことが一番望ましくそれがさらには「共助」へと繋ぐ道が開けます。

日頃から地域や職場の防災活動に取り組むに当たり、今回は基本「自助・共助」を中心に講習会を実施いたしましたが、機会があるごとに内容を深め防災士としての心構えや行動の統一を図るための講習会や研修会を今後も開

催していきたいと考えています。

## 埼玉県防災学習センター

### 「ロープワーク教室」に参加して

六十里 繁

最初に、埼玉県防災学習センターを会場とする埼玉県支部行事「ロープワーク教室」を企画した経緯について説明します。平成20年8月に埼玉県消防防災課担当者の依頼により会議を持ちました。内容の一つは、防災士が「地元の自主防災組織」の立ち上げを支援して欲しいという要望であり、もう一つは、「埼玉県防災学習センターの研修室等を使用した埼玉県支部行事」の企画という要望でした。前者は、ご案内のとおり中沢支部長から支部会員の皆様へ呼びかけを実施しました。そして、後者については、「ロープワーク教室」の開催となりました。埼玉県防災学習センターは、JR高崎線北鴻巣駅から徒歩20分の所にあり、県消防学校と隣接した施設です。埼玉県防災学習センターのパンフレットによると、「埼玉県防災学習センターは、災害に強い地域作りを目的とした体験学習施設です。さまざまな疑似体験をとおして自然災害を身近に感じ、万一災害が起きた時にどうしたらよいかを学びましょう」とあります。施設の1階は、エントランスホールに地球型モニュメント(ここでは、映像により地震のメカニズムや地震災害対策等と会場案内の解説をします)と広いスペースがあり、第1展示室の体験コーナーでの暴風雨体験、消火体験、第2展示室の地震体験、煙体験及びてんぷら火災消火などの体験コーナーがあります。また、2階にある展示室では地域防災、暮らしの防災等の展示物を見て、また、防災ミニシアターでは、防災に関する映画を観ることができます。

さて、日本防災士会埼玉県支部主催、「埼玉県防災学習センター ロープワーク

教室」は、平成 21 年 2 月 15 日(日)に埼玉県支部会員 11 名が参加して、埼玉県防災学習センターの 1 階エントランスホールに開設しました。講師は埼玉県支部会員である小野寺正勝氏と鈴木勇氏が勤め、あと、9 名の支部会員がバックアップにつき、午前 10 時半頃から、途中昼休みをはさんで、午後 2 時半頃まで、埼玉県防災学習センターに来館した団体客、親子連れや子供会の子供達にロープワークを実践してもらいました。



あと、2 月 15 日(日)、埼玉県防災学習センターの来館者に対しては、どのような広報活動をしたかという、「ロープワーク(ロープの結び方)は、災害時の救助活動に活用しますが、日常生活では荷造りのロープ結びにも役立ちますし、アウトドア・ライフでも活用できます。日本防災士会埼玉県支部が「ロープワーク教室」を開催します。参加してロープワークを実践してみませんか!」とのパンフを埼玉県防災学習センターの入口窓口に置いてもらいましたが、「百聞は一見に如かず」で、エントランス

ホールにいた支部会員の熱心な呼び込みで、多くの見学者がロープワーク教室に参加してくれました。



講師の小野寺さん、鈴木さんの熱心な指導で、親子連れ、子供会の子供達や父兄達、男性グループや館内清掃のおばさんまでも参加して、「もやい結び」や「本結び」の結び方を勉強しました。



また、バックアップについている私ども支部会員も、ロープワーク教室参加者に教えながら、また、学んでいるのだということが実感できました。そして、午前から

午後にかけて、多くの見学者にロープワークの実践を体験してもらい、ロープワーク教室を無事終了しました。



## 地震に備える

～ 緊急地震速報で人的被害の軽減 ～  
《 過去には埼玉県にも兵庫県南部地震クラスの地震が発生している 》

神林 幸夫

### はじめに

最近、日本では各地で大きな地震が発生しています。2004年10月の新潟県中越地震、2007年3月の能登半島沖地震、7月の新潟県上中越沖地震、2008年6月の岩手・宮城内陸地震等では、それぞれ多くの被害が発生しました。日本では、いつでもどこでも大きな地震が発生してもおかしくない状況にあります。このような状況の中、地震災害から生命を守るためには、地震に対す



る備えを十分行っておくことが最も重要です。

### 1. 埼玉県の地震活動及び活断層

埼玉県内の地震活動は、定常的にはあまり高くはないと言えます。しかしながら、過去の地震活動をみると、西暦818年には埼玉県北部でマグニチュード(M)7.5の地震が発生しています。この地震の被害状況は当時のことではっきり分かっていませんが、地震の規模からすれば、兵庫県南部地震を一回り大きくしたような、途轍もなく大きな地震ということが言えます。また、M7クラスの地震としては、1649年7月30日の地震(M7.0)、1931年9月21日の地震(M6.9)が発生しています。

活断層については、政府の地震調査委員会から公表されていますが、その報告によれば、埼玉県の活断層は、関東平野北西縁断層帯(関東平野北西縁断層帯主部と平井 櫛挽断層帯)と立川断層帯があります。関東平野北西縁断層帯主部は、群馬県榛名町から埼玉県伊奈町に至る、長さ約82kmで北西 南東方向に伸びる断層帯です。この断層帯全体が活動した場合、M8程度の地震が発生する可能性がある。また、埼玉県北部の平井 櫛挽断層帯が活動した場合は、M7.1程度の地震が発生する可能性がある、としています。立川断層帯は、名栗断層と立川断層から構成されており、埼玉県南部の飯能市名栗から東京都立川市に至る、長さ33kmで北西 南東方向に伸びています。この断層帯全体が活動した場合は、M7.4程度の地震が発生する可能性がある、としています。



このようなM7クラス以上の地震が人口密集地の直下に発生すれば、極めて大きな被害が予想されます。常に内陸の直下で発生する大地震に対しては、「備え」を行っておく必要があると考えます。

## 2. 気象庁が発表する緊急地震速報について

気象庁では、緊急地震速報という新しい情報を発表していますが、これを有効に活用すれば、地震による人的被害を軽減できると考えています。

緊急地震速報とは、大きな地震が発生した場合、震源に近い観測点で地震波（P波）を検知し、直ちに地震が発生した場所（震源）地震の規模（マグニチュード）を推定します。この震源・マグニチュードに基づいて、各地の揺れの強さ（震度）を予測し、強い揺れ（主要動）が来る前に「まもなく強い揺れが来ます」ということを、お知らせする情報です。緊急地震速報で強い揺れが来ることを知り、その到達するまでの短い時間（数秒から十数秒）に身の安全を図れば、地震による人的被害を軽減することが期待できます。

緊急地震速報は、テレビ・ラジオ等の放送で情報を得ることが出来ますが、各家庭では専用の受信端末を設置して情報を得ることも出来ます。また、最近では、緊急地震速報を受信できる携帯電話の機種も増えてきました。

テレビ・ラジオ、専用の受信端末等で緊急地震速報を見聞きした場合には、周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する、ということが基本ですが、

(1) 家庭では、大きな家具からは離れ、丈夫な机の下などに隠れる。あわてて外へ飛び出さない。その場で火を消せる場合は火の始末、火元から離れている場合は無理して消火しない。扉を開けて避難路を確保する。

(2) そのほか、不特定多数の者が出入りする施設（デパート、映画館、地下街等）

では、どうすべきか。屋外では、乗り物で移動中の時は、鉄道・バスに乗車中は、エレベータにのっている時は、どうすべきかと言うことを気象庁では緊急地震速報「利用の心得」で解説しています。緊急地震速報の詳細は、気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/> を参照して下さい。

## 3. 地震や津波に対する備え

### イメージトレーニングする

大地震が発生したらどうなるか、その時何が起こるか、を知っておく必要があります。家庭では、家具が倒れ、引き出しが飛び出し、テレビが飛び、窓ガラスが割れる。停電となり、ガス・水道は止まり、電話は不通となる。職場では、書類戸棚が倒れ、パソコンや書類が飛ぶ。街中では、道路は交通渋滞・通行不能となり、電車は止まる。橋は落下、ブロック塀は倒壊、自動販売機が転倒、ビルからは割れた窓ガラスが落下する。エレベータは止まり、多くの人が何時間も中に閉じこめられる。地下街では、停電で真っ暗（一時的）となりパニックが起こる。大地震が発生した場合は、このような状態となる事が予想されます。このような状態から身を守るためには、その場、その場で、常に地震が発生したことを想定しイメージトレーニングをしておき、とっさの場合の対応を考えておく事が大切です。

## 4. あなたの地震対策

### (1) 家庭ではどうすべきか

建物の耐震化、少なくとも安全な空間（特に寝室）を作っておく事が重要です。（1995年の阪神・淡路大震災では、死者の9割が建物の倒壊によるものでした）。家具の転倒防止、証明具の落下防止策、炊飯器、テレビ、冷蔵庫等の固定。寝室には倒れやすいもの、背高のものは置かない。スリッパ、スニーカー、懐中電灯等を備えておく。窓ガラスは飛散防止フィルムを張る、食器戸棚は食器が飛び出さないように。避難路、避難場所を確認しておく

( 1 7 1 電話の使用方法を確認しておく )、  
非常持ち出し品 ( 懐中電灯、ラジオ、水  
等 ) を整理して置く。

( 2 ) 外出先ではどうすべきか

建物の中( デパートやスーパー )では、  
出口に殺到するのは危険、落下物に注意、  
係員の指示に従って冷静に行動する。地下  
街や地下鉄の中にいる場合は、一時的な消  
電でもすぐに非常灯がつく、管理者・関係  
者の指示に従い冷静に行動する。街中に  
いる場合は、ブロック塀の倒壊、屋根瓦の  
落下に注意する。繁華街・オフィス街に  
いる場合は、看板、窓ガラスの落下に備え、  
ビルのそばから離れる。丈夫なビルであ  
ればビルの中に避難する。エレベータに  
乗っていたら、全てのボタンを押し止  
まった階から脱出する。電車に乗ってい  
たら、乗務員の指示に従う。勝手に線  
路に降りるのは危険、地下鉄では感電  
するおそれがある。

( 3 ) 高速道路で車の運転中の場合

強い揺れを感じても、急ブレーキを  
かけず落ち着いて冷静に行動する。慌  
てずラジオや掲示板で状況を確認す  
る。また、まわりの状況を観察し、  
正確な情報を収集する。状況によ  
っては、徐行しながら道路の左側  
に止まり、エンジンを切る ( 道路  
公団や警察の指示に従う )。避難  
の際は、キーをつけたままとし、  
車検証、貴重品を持って退避する。

第 3 回役員会 :

- ・ 2008 年 8 月 2 日 ( 土 ) 14 : 00 - 16 : 00
- ・ 生涯学習センター 7F・講座室 3 ; シーノビル
- ・ 出席者 : 5 名 ; 欠席者 : 4 名

第 4 回役員会 :

- ・ 2008 年 9 月 27 日 ( 土 ) 13 : 15 - 14 : 30
- ・ 生涯学習センター 9F . 学習室 3 ; シーノビル
- ・ 出席者 : 5 名 ; 欠席者 : 4 名

第 5 回役員会 :

- ・ 2008 年 10 月 19 日 ( 土 ) 14 : 00 - 16 : 00
- ・ 生涯学習センター 9F ・ 学習室 1
- ・ 出席者 : 5 名 ; 欠席者 : 4 名

第 6 回役員会 :

- ・ 2008 年 11 月 29 日 ( 土 ) 13 : 15 - 14 : 30
- ・ 生涯学習センター 9F . 学習室 2 ; シーノビル
- ・ 出席者 : 7 名 ; 欠席者 : 2 名

第 7 回役員会 :

- ・ 2009 年 1 月 24 日 ( 土 ) 13 : 15 - 14 : 30
- ・ 生涯学習センター 9F . 学習室 2 ; シーノビル
- ・ 出席者 : 5 名 ; 欠席者 : 4 名

第 8 回役員会 :

- ・ 2009 年 3 月 8 日 ( 土 ) 14 : 00 - 14 : 30
- ・ 生涯学習センター 9F . 学習室 2 ; シーノビル
- ・ 出席者 : 7 名 ; 欠席者 : 2 名

**編集後記 :** 次号は平成 21 年秋号 ( 本年 10  
月発刊予定 ) となりますので、皆様の投稿を  
お待ちしております。投稿先は、六十里宛  
( musorishi@nifty.com ) へワード文書でお願  
い致します。

## 平成 20 年度役員会開催状況

第 1 回役員会 :

- ・ 2008 年 5 月 18 日 ( 日 ) 10 : 00 - 12 : 00
- ・ 生涯学習センター 7F・講座室 1 ; シーノビル
- ・ 出席者 : 6 名 ; 欠席者 : 3 名

第 2 回役員会 :

- ・ 2008 年 6 月 21 日 ( 土 ) 14 : 30 - 16 : 30
- ・ 生涯学習センター 7F・講座室 2 ; シーノビル
- ・ 出席者 : 7 名 ; 欠席者 : 2 名